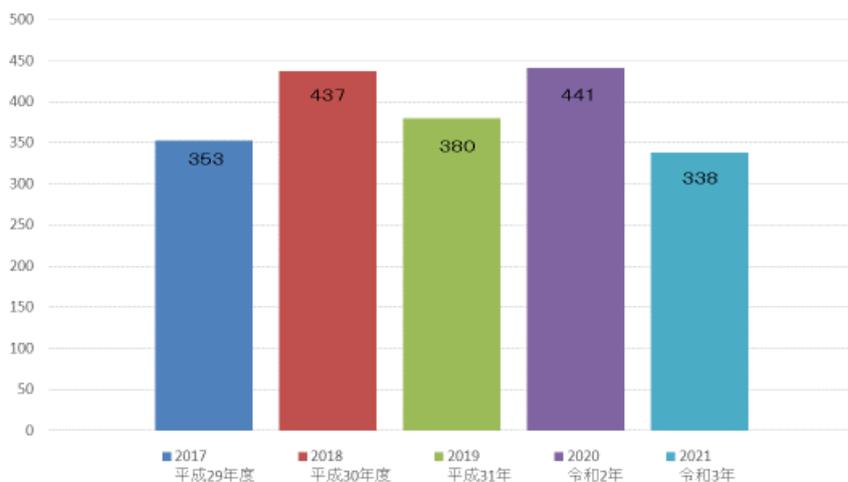


## 令和3年度の相談概要

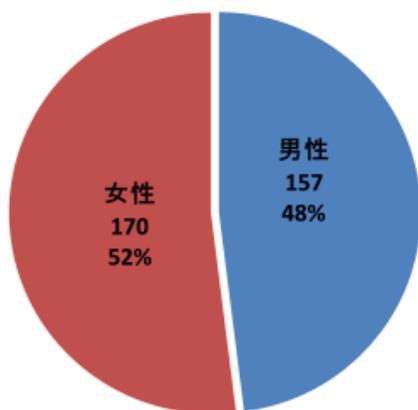
### ◆年度別相談総件数の推移



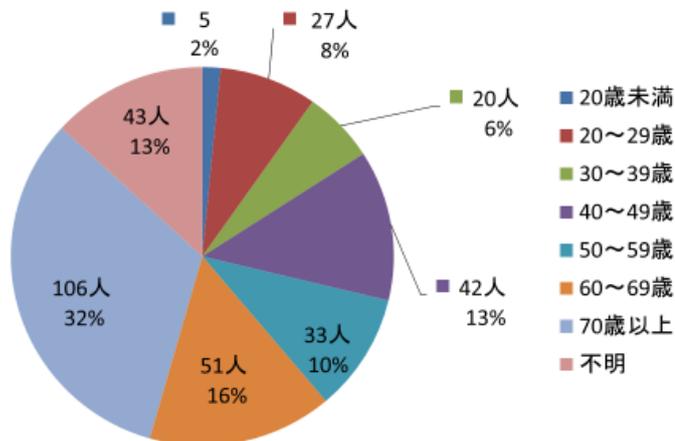
### ◆2021年度(令和3年度)の相談状況

#### 《男女別相談状況》

(\*件数には団体が9件、年齢・性別不明が2件含まれます。)



#### 《年齢別相談状況》



#### 《傾向と特徴》

令和3年度の相談件数は、338件（令和2年度 441件）、前年対比77%で103件の減であった。年齢別では60歳代51人（16%）70歳以上106人（32%）で全体の半数近くを占めている。依然として、高齢者の消費者トラブルが多いことがうかがえる。

昨年度の相談状況と比較すると、相談項目上位だった運輸・通信サービスに関わる相談（例えば、電話回線契約等）や保健衛生品に関する相談（例えば、マスク・消毒液の品薄等）が半数以上減少し、全体的に相談件数が減少した。また、令和3年度は、全国的にも多かった還付金詐欺に関する相談が当センターでも多くみられた。

## 《相談項目の上位》

### ① 教養娯楽品に関する相談

新聞購読の契約・携帯やスマホ契約など

### ② 商品一般に関する相談

架空請求・不審な請求・不審な荷物など

### ③ 保健・福祉サービスに関する相談

還付金、衛生サービスなど